

2022年1月7日

双葉町「環境再生」デザインプロジェクトに連携

環境省は、将来を担う若者世代と連携し、被災地域の活動を通じ、福島復興、環境再生の状況を広く発信する取組を行っています。

今回は、令和4年6月に避難指示が解除される「双葉町」を対象に、郡山女子大学短期大学部地域創成学科の学生さん及び、令和4年秋に双葉町中野地区復興産業拠点に、再生事業の拠点となる工房を建設予定のフレックスジャパン(株)と連携して、双葉町由来の生地を活用した思い出のリメイク品の製作に取り組みました。当社は、双葉町の「双葉南小学校」の教室で使用していた暗幕を活用して、郡山女子短大の学生さんがデザインした”ペンケース”の製作に協力させて頂き、学生さんは、「双葉北小学校」の体育館で使用していた紅白幕を活用して、”巾着”と袱紗(ふくさ)にもなる”包み布”を企画・デザインの上、製作にも携わりました。この巾着には”双葉ダルマ”をモチーフにしたワッペン型の刺繍、ペンケースにも”双葉ダルマ”と清戸迫横穴(きよとさくおうけつ)遺跡をイメージした刺繍が2カ所に施されています。この刺繍はこだわりの刺繍造りには定評のある、群馬県の(有)昌藤様に多大なるご協力を頂いて出来上がりました。この3種のリメイク品は、被災当時小学校3年生だった54名の方々が、今年新成人となり、1月3日の成人式の式典の際に贈呈されました。

有限会社 昌藤 <https://www.masafuji.net/>

藤田光弘社長は2017年に日本メンズファッション協会のMFUマイスターに認証されています



ペンケース



巾着